

2026 年 8 月 31 日

各位

会 社 名 株式会社トライアイズ
 代 表 者 代表取締役社長 岩尾 俊兵
 (コード 4840 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 経 理 ・ 財 務 部 長 上 嶋 悦 男
 電 話 0 3 (3 2 2 1) 0 2 1 1

2026 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 12 月期通期の連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 2026 年 12 月期通期連結業績予想の修正 (2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日) 単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	1,416	△22	△5	155	19 円 77 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	2,458	52	46	242	29 円 37 銭
増 減 額 (B - A)	1,041	74	52	87	—
増 減 率 (%)	73.5	—	—	56.0	—
(参考) 前 期 実 績 (2025 年 12 月期)	1,424	△204	231	△423	△54 円 20 銭

2. 修正の理由

本日開示の「販売用不動産の売却に関するお知らせ」で開示しているとおり、不動産投資事業において第3四半期以降の販売を予定している不動産の売上高が、予想値を上回る見込みとなりました。

不動産投資事業の売上高増加に伴い、同事業の売上総利益及び営業利益も予想値を上回る見込みとなりました。その一方で、建設コンサルタント事業については当期の完成予定の案件の工期延長により、売上高が予想値を下回る見込みとなったことに加え、同事業の原価率が予想値を上回る見込み（予想 61%→73%）となりました。この影響で建設コンサルタント事業の売上総利益及び営業利益が予想値を下回る見込みとなりました。

不動産投資事業の躍進の影響が建設コンサルタント事業の不振を上回り、売上高は 2,458 百万円、営業損益は 52 百万円の営業利益となる見込みとなりました。営業利益に転じる見込みとなったことに伴い、経常損益についても 46 百万円の経常利益となる見込みとなりました。特別損益については概ね予想値どおりに推移する見込みとなり、親会社株主に帰属する当期純利益は 242 百万円と予想値を上回る見込みとなりました。

以上、建設コンサルタント事業の不振があったものの、不動産投資事業の躍進により、売上高が予想値を上回り、営業及び経常損益が黒字となる見込みとなったほか、最終の親会社株主に帰属する当期純利益も予想値を上回る見込みとなりましたので、連結業績予想値を修正するものであります。

なお、連結業績予想へ影響を与える状況・事象が発生し、これにより通期連結業績予想を修正する場合には速やかにお知らせいたします。

以上